



ぼくが生きてる、 ふたつの世界

伝えられない想いが
あふれます。

監督: 呉美保 主演: 吉沢亮 脚本: 港岳彦

忍足亜希子 今井彰人 ユースケ・サンタマリア 鳥丸せつこ でんでん

原扶貴子 山本浩司 河合祐三子 長井恵里

原作: 五十嵐大「ぼくが生きてる、ふたつの世界」(幻冬舎刊) 企画・プロデュース: 山国秀幸

製作: 「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会(ワンダーラボトリー/博報堂DYミュージック&ピクチャーズ/ギャガ/R西日本コミュニケーションズ/アイ・ビー・アイ/アミューズ/河北新報社/東日本放送/シネマ・シネマ)

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

©五十嵐大/幻冬舎 ©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会 配給: ギャガ GAGA★ gaga.ne.jp/FutatsunoSekai/

母に背を向け、故郷を離れたぼく――。

繊細に紡がれる、きこえない母ときこえる息子、そしてあなたの物語。

GAGA★
GENDA GROUP



親子の物語が、そしてひとりのコーダの心の軌跡が、点描のように紡がれていく——。監督は、本作が9年ぶりの長編作品となる、『そのみにて光輝く』『きみはいい子』の呉美保。作家・五十嵐大氏の自伝的エッセイを原作に、脚本は『正欲』の港岳彦。吉沢亮が、“きこえる世界”と“きこえない世界”を行き来しながら生きる主人公を体現、自身の居場所を見出していく若者の心を繊細に演じた。母・明子役には、ろう者俳優として活躍する忍足亜希子。

やがて母への想いが観る者の胸にも静かに温かく満ちていく、心に響く映画が誕生した。

*コーダ(きこえない、またはきこえにくい親を持つ聴者の子供)

母と息子、切なくも心に響く家族の物語

Story

宮城県の小さな港町、五十嵐家に男の子が生まれた。祖父母、両親は、“大”と名付けて誕生を喜ぶ。ほかの家庭と少しだけ違っていたのは、両親の耳がきこえないこと。幼い大に

っては、大好きな母の“通訳”をすることも“ふつう”の楽しい日常だった。しかし次第に、周りから特別視されることに戸惑い、苛立ち、母の明るささえ疎ましくなる。心を持って余したまま20歳になり、逃げるように東京へ旅立つ大だったが……。



「ぼくが生きてる、ふたつの世界」湖西市上映会

2025年11月8日(土) ①9:30 ②13:00 ③16:00 ④19:00

湖西市新居地域センター 3階ホール

満席の際は
次回にお回り
いただくこと
もごさいます

前売券 大人 1200円

当日券 大人 1500円 小中高 800円 (小学生未満無料)

【前売券取扱所】湖西市商工会、新居町商工会、R.Yリハビリセンター(各所とも 平日9:00~16:00)

※土・日のチケットの取扱いについては FAX 053-572-3700 夏目(上映実行委員長)へご連絡下さい

【主催】映画「ぼくが生きてる、ふたつの世界」湖西市上映実行委員会

【実行委員】湖西聴覚障害者協会、湖西市社会福祉協議会、特定非営利活動法人精神保健福祉会さざなみ会、湖西市商工会、一般社団法人浜名湖青年会議所、湖西ライオンズクラブ、浜名湖ロータリークラブ、湖西地区労働者福祉協議会、R.Yリハビリセンター、湖西手話サークルあやとり会、新居手話サークルたんぽぽ、こども&みんなの食堂いちかわさんち、湖西市登録手話通訳者団

【後援】湖西市、湖西市教育委員会、湖西市民生委員・児童委員協議会、湖西市人権擁護委員連絡協議会、新居町商工会、静岡県立湖西高等学校、静岡県立新居高等学校、社会福祉法人慈悲庵、

社会福祉法人南浜名湖会、社会福祉法人寿宝会、社会福祉法人新和会、湖西市老人クラブ連合会、

湖西市文化協会 【協力】湖西国際交流協会、湖西市身体障害者福祉協会、浜名湖ボートレース企業団

【お問合せ】FAX053-572-3700 夏目(上映実行委員長) 053-576-0637湖西市商工会

053-594-0634新居町商工会平日(9~16時)

(平日9~16時)